

2009年「乳幼児医療全国ネット」5月集会について

氏名：ちばてつや

集会へのご参加：

~~ご出席~~ 欠席

メッセージ

国民から集めた税金を
何に潤沢に使って
何に使うことを惜しむのが？
日本という国の未来が
くっきり見えてくるわ。

ちばてつや

2009年「乳幼児医療全国ネット」5月集会について

ご芳名：五ノ嵐 めぐみ

集会へのご参加：

ご出席・~~欠席~~

メッセージ

安心して子育てが出来よう環境を整える為にも
子どもたちの医療費は無料にすべきだと思います。
この不況の中、頑張っている親たち。
そしてこれから親になるであろう若者たちの為にも
“国制創設”を求める運動を広げていきましょう！！

2009年5月27日 乳幼児医療全国ネット5月集会に寄せられたメッセージ

○ 階 猛 衆議院議員(民主党)

乳幼児医療全国ネットの皆様の日頃のご活躍に敬意を表します。

少子化対策の有効な手段として、乳幼児の医療費軽減は必要不可欠な施策であると認識しています。

民主党は、この4月「生活・環境・未来のための緊急経済対策」で中学生までの医療費の無料化など、年金・医療・介護のセーフティネットの抜本的拡充を図り、国民の皆さんの不安を解消し、将来の安心感を高めるための政策を打ち出しています。

真に国民の生活の礎となる制度創設のため、ともに頑張りましょう。

○ 下条 みつ 衆議院議員(民主党)

早く、国が小学校就学前までの医療費の助成をする制度を創設し、財政的にも苦しんでいる各市町村を助け、さらに地域の子どもに対する補助を底上げできるように、僕も一緒に皆さんと歩みたいと思います。

子どもを持つ大切さ、ありがたさをかみしめながら、これからも制度創設に向けて頑張りましょう。乳幼児医療全国ネットの皆様の日頃のご活躍に敬意を表します。

○ 加賀谷 健 参議院議員(民主党)

民主党は「生活・環境・未来のための緊急経済対策」の中に、「中学生までの医療費無料化」を盛り込んでおります。その実現のためにも何としても政権交代が必要です。

○ 松本 大輔 衆議院議員(民主党)

乳幼児医療全国ネット5月集会(国会内集会)のご盛會を心よりお慶び申し上げます。

少子化対策という、社会的に重要な課題の解決の為、強い使命感をもって、活発に、かつ、真摯に活動しておられます皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

私達民主党は、子どもをもつすべての保護者が、ゆとりと責任をもって子育てが出来るよう、子ども手当や、出産時助成金、育児休業給付の充実など、子どもがうまれてから、成長していく過程にかかる経済的な負担を軽減させるような支援策を充実させるべく取り組みを進めており、乳幼児の医療については、負担軽減の方向で検討を進めております。

結びに、貴ネットワークの今後ますますのご発展と、本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

○ 鈴木 寛 参議院議員(民主党)

乳幼児医療全国ネット5月集会(国会内集会)のご盛會、心よりお祝いを申し上げます。

私ども民主党は、政権交代を成し遂げ、子ども手当26,000円(年間31万2千円)の創設、NICU増床1.5倍をはじめとして、皆さんとともに、安心して子育てできる世の中づくりに向けて邁進する所存です。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

○ 植松 恵美子 参議院議員(民主党)

皆さま、こんにちは。私自身も16歳になる子どもを育てている母親です。幼い頃はよく熱を出して病院に連れて行きましたが、医療費がたくさん掛かり苦労したのを覚えています。

安心して子どもを産み育てることができる社会をつくるために、国による乳幼児医療費無料制度の実現に向けて、私も全力で頑張ります。

○ 横峯 良郎 参議院議員(民主党)

日本ほど乳幼児に対し冷たい政策を行っている国は無い。

○ 和田 隆志 衆議院議員(民主党)

私も、3月16日に第2子を授かり、皆様とともに、この問題の当事者として、精一杯活動して参りますので、今後とも、御指導と御支援、よろしくお願いします。

○ 笠井亮 衆議院議員(共産党)

小学校就学前の子どもへの国による乳幼児医療費助成制度の創設をもとめて奮闘されているみなさんに、心からの敬意とあつい連帯のあいさつをおくります。

医療費の負担を気にせず、いつでも子どもを診てもらえる制度は、子育てのつよい支えです。地方自治体での制度が急速に広がっていることは、みなさんの運動のたまものとして、ともに喜びたいと思います。

今度は国の制度として実現するため、さらに力をあわせてがんばりましょう。

みなさんの集会のご盛会を祈念してメッセージといたします。

○ 赤嶺 政賢 衆議院議員(共産党)

乳幼児医療全国ネットの5月集会のご成功を祝します。

貴ネットが、小学校就学前までの子どもたちの医療費の無料制度の創設を国に求めるために、116万筆を超える請願署名を国会に提出するなど、国民的な運動をすすめてきた、そのご努力に対して心から敬意を表します。

私も、貴ネットをはじめ、集会参加者の皆さんとともに、「乳幼児医療費無料制度」の実現のために全力を尽くします。ご一緒に頑張りましょう。

○ 高橋 千鶴子 衆議院議員(共産党)

先日、子育て応援団という各党出席のシンポがありました。

たった一つ、一番やりたい支援策は？と無理な注文をつけられ、「子どもの医療費無料化」と答えました。東京都なら当たり前になっているので、地方によって違うのか…とパネリストが驚きの声をあげたり、主催者もネットに書き込みをしていました。「当たり前」と思わせた皆さんの運動の成果もすごいし、だからこそ国として制度をつくるべきです。ご一緒に頑張りましょう！

○ 小池 晃 参議院議員(共産党)

乳幼児医療費の無料化を国の制度として実現するよう、何度も参院厚労委員会で取り上げ、厚労大臣にも要請してきました。国の予算、1,500億円程度で実現できるとのことです(昨年4/24答弁)。

乳幼児医療費無料化実現のため、ごいっしょにがんばりましょう。

○ 穀田恵二 衆議院議員(共産党)

ご参加の皆さんに心から連帯のメッセージを送ります。

皆さんの粘り強い運動が、地方自治体の無料化制度を広げてきました。さらに運動を広げ、国の制度として医療費無料化を実現させましょう。私もともに頑張ります。

※メッセージは、5月27日10:00までにお送りいただいたものを掲載しております。

5月27日10:00以降にいただいたメッセージを含め、ホームページなどでご案内します。